HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2017
6・16
No.38

【特集】
平成29年度 新入職員のご紹介
福岡県花卉農業協同組合の
未来を担う新しい仲間を紹介します

◎ PICK UP FLOWER SHOP　あなたの街の花屋さん
◎ 平成28年度「ふくおかの花」購買促進事業取り組み報告
◎ 春爛漫 花のイベントレポート
◎ 花育活動
◎ 花の慰霊祭

青、紫、ピンク…
公園やお寺などを彩るアジサイは
梅雨を代表する花。
雨に濡れた姿は美しく、
無彩色になりがちな雨の日の風景を鮮やかに彩ります。
福岡県で生まれた品種の一つ「筑紫の風」。
咲きはじめの淡いクリーム色が
次第に青色に染まり、
満開になると青と白のコントラストがみごとです。
夏が近づくにつれて緑色、さらに秋は紫色へ。
見る人の目を楽しませながら
季節の移ろいを知らせてくれます。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.38

一日中客足が絶えない人気店

東九州自動車道行橋インターチェンジから車で5分の住宅街にある当店は、来年20年目を迎える園芸店です。ギフトとインドアグリーン、アウトドアグリーンに特化した品揃えで、「よりよいものをより安く」がモットー。花の色や種類などの組み合わせ方を楽しんでもらうため、ただ花を並べるだけでなく寄せ植えのサンプルを置いています。最近は敷地内に併設するカフェとあわせて花を購入する20代、30代の若いお客さんが目立つようになりました。

当店では、仕入れや販売の数だけでなく、個々の花の大きさや状態などの情報をコンピューターで管理しています。正確なデータを把握、活用することで機会損失とロスが減少しました。需要と供給のバランスや消費者のニーズは、私たち小売店だけでなく生産者の方にとっても有益な情報だと思います。双方で情報を共有しながら、消費者に楽しんでもらえるような花業界にしていけたらいいですね。

いたるところに寄せ植えの見本を置く

インテリアショップのようなおしゃれなディスプレー

FLOWER SHOP
ゆくはし植物園
（セリ番号北九州138）

DATA
所在地：行橋市上津熊221
TEL：0930-24-1848
営業時間：10:00～18:00
休み：無休

春爛漫 花のイベントレポート

○福博 花しるべ2017

今年も「福博 花しるべ」が開催されました。博多と天神、舞鶴公園を結ぶ道に色とりどりのチューリップが敷かれ、期間中の4月1日（土）～9日（日）には、ルート上にてさまざまなイベントが催されました。

警固公園（福岡市中央区天神）では、「ガーデニングショー」が開かれ、多くの方々の参加がありました。

公園内には、ガーデニングや緑化に関わる団体・企業（フラワーシップアンバサダー）が趣向を凝らした花壇を展示。花壇の一部は夜間にライトアップされ、公園を訪れた人々は昼間と違った雰囲気を楽しんでいました。

市民花壇や壁面に飾るハンギングバスケット、ベランダや庭や玄関などに置いて寄せ植えを楽しむことができるコンテナガーデンなどのコンテストも実施されました。これらの作品は来場された方々に投票いただき、各部門の人気ナンバーワン作品を決定しました。

一角のキッズ広場では、舞鶴小学校の5年生と一緒に取り組んだキッズハンギングバスケットが展示されました。

コンテナガーデン

キャナルシティ博多にて

花壇コンテスト

JR博多駅にて

また、子供向けのワークショップとして、緑のコーディネーターによる「花と緑の体験講座」が開講され、参加した子供たちは、テラリウムやどんぐりの鉛筆作りにチャレンジしました。8日（土）には「お花の学校北崎キャンパス」が開校し、フラワーアレンジメント作りも行われました。

さらに、生育に土を必要としないエアープランツの専門店や、花苗・多肉植物・樹木・苔玉・ガーデン雑貨を取り扱うマルシェが3店舗オープンしました。

キャナルシティ博多の隣にある清流公園では、「フラワーフェスティバル」が開かれ、那珂川沿いに植えられた1万2000本のチューリップを華やかにライトアップしました。開催期間中の土曜、日曜日には「博多千年夜市」がオープンし、採れたての農産物や地元食材の加工品などを販売。また、福岡の「ちかっぱうまいもん」が大集合した飲食ブース「チカッパ横丁」が開店し、参加者たちは、ライトアップされたチューリップやステージイベントを眺めながら、食事を楽しんでいました。

博多駅、キャナルシティ博多、博多リバレインモール、天神警固公園を結ぶチューリップロード上では、スタンプラリーが開催され、参加者のみなさんは、チューリップを楽しみつつ、スタンプを集めていました。そして、スタンプをすべて集めた参加者には、鉢花と土、花の種が入った花苗体験セットなどがプレゼントされました。

○九州バラ祭

4月14日（金）～29日（土・祝）には、JR博多駅前広場にて「九州バラ祭」が開催されました。

今年はスペシャルイベントとして、バラが重要なアイテムとして物語に出てくることから、ディズニー映画「美女と野獣」（4月21日（金）公開）とコラボを実施。4月5日（水）に映画館T・ジョイ博多（JR博多シティア・ミュプラザ内）で行われた試写会では、参加した女性400名にバラをプレゼントしました。また、バラ祭の会場ではヒロインのベルの衣装をイメージし、黄色のバラで作ったドレスや作品の世界を紹介するパネルを展示しました。

会場では、九州各地で実施されるバラ祭を紹介したパネルを展示。来場された方々にJR等を使って九州各地にバラを観に行きませんか、と提案しました。

会場内に設けられた物販ブースでは、新ブランドや希少種など約500種、2000鉢のバラや雑貨が販売され、来場された方々は、バラを購入したり写真を撮ったりしていました。

また、販売ブースとは別に、バラの花や苗木のオークションを開催。参加者たちは、司会者が紹介するバラの知識を聞きながら、セリを楽しんでいました。

さらに、「元気に！くまもとマルシェ～熊本の魅力発信市場～」が開かれ、小国杉を使ったブースの中で、阿蘇・熊本の新鮮な野菜、オリジナルドレッシングなどを販売しました。

花育活動

●カーネーション部会

カーネーション部会は、2月21日（火）に、福岡市立福岡女子高等学校（福岡市西区）にてフラワーアレンジメント教室を開催。参加者は、生徒39名と先生の計40名で、講師の「フルール彩花」の空木和信氏のご指導のもと、2単位時間（120分）を使って、今年の干支である酉の巣と桃の節句をイメージした花籠風のアレンジメント作成を体験していただきました。

カーネーション部会は、平成27年度も福岡女子高校にてフラワーアレンジメント教室を実施しましたが、そのとき参加した生徒さんのなかに、「将来お花屋さんで働きたいので、夏休みにバイトをしたい」と空木氏のお店を訪れた生徒がいたとのお話をうかがいました。花育に参加した生徒さんたちから、花を家庭に飾る習慣が広まり、そして、将来のお花屋さんが生まれて欲しいと思いました。

●ばら部会

ばら部会は、2月27日（月）に、福岡県立玄洋高等学校（福岡市西区）にてフラワーアレンジメント教室を実施しました。

はじめに、ばら部会長の冨田幸治氏より、今回の教室にてメインで使用するSTバラ「プロッサムピンク」の紹介をしていただきました。「プロッサムピンク」は花持ちがよく、花弁に張りとボリュームがあり、大変人気のある品種だそうです。

アレンジメント教室には、生徒40名と先生の計41名にご参加いただき、講師の「みとま花園」三苫智美氏のご指導のもと、ラウンドタイプのフラワーアレンジメントを作成しました。初めて教室に参加したという生徒もいれば、2回目という生徒もいました。初めての生徒は、最初のうちは花を短く切ることに躊躇していたのか手が動いていませんでしたが、作業を進めていくうちに慣れていったようで、最後は上手にアレンジメントを完成させていました。

●福岡市との合同事業

2月24日（金）に、福岡市立横手小学校（福岡市南区）にて花育を行いました。参加者は6年生2クラス、約70名でした。桃の節句が近いということもあり、ひな祭りを連想させる作品を作成しました。使用した花材はスプレーカーネーション、チューリップ、スイートピー、ソリダゴ、レザーファン。アレンジメントのベースとなる部分に関しては、花の長さや挿す位置を統一していましたが、他の部分は生徒たちに自由に花を挿してもらったので、個性豊かな作品が出来上がりました。一度アレンジメント教室を体験しているためか、まわりの友達に教えてあげている生徒もいました。

玄洋高校にて

福岡女子高校にて

横手小学校にて

花の慰霊祭

4月19日（水）の午前10時より、福岡花市場場内にて花の慰霊祭を執り行いました。祭儀には生産者や花商、仲卸、華道、花市場の関係者ら約100名が参列し、櫛田神社の神主様によって供養が行われ、1年間生活を支えてくれた花々に感謝の祈りを捧げ、その霊を慰めました。

会場には、JA糸島花き部会様、JAたがわ花き部会添田支部様、JA筑前あさくら花き部会様、JAにじ花部会様、JA福岡市北崎花き部会様、JAふくおか八女様、JAむなかた花き部会様より頂戴したご献花を使用したスタンドやアレンジメントが飾られ、会場を華やかな雰囲気にしていました。飾られていたアレンジメントは、慰霊祭のあと、県内の保育施設や小学校、行政機関へ寄付されました。

当日は、FBS福岡放送、J:COM福岡、朝日新聞社の3社に取材に来ていただき、慰霊祭の様子を夕方のニュースや翌日の朝刊にて取り上げていただきました。

[はなこ]6月号　2017年6月16日発行
通巻126号
● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
● 企画・印刷　有限会社 大進印刷
編集・（株）クロス編集事務所
HANACO はなこ

特集 平成29年度 新入職員のご紹介

福岡県花卉農業協同組合の未来を担う新しい仲間を紹介します

2017年4月3日に、福岡県花卉農業協同組合の入組式が行われました。今年は新卒採用4人と中途採用1人、これまで嘱託で勤務していた2人が正社員として入組。新卒採用の4人のうち2人は、北九州花市場への配属となります。新たなメンバーを迎え、さらにパワーアップした花卉農協の今後にご期待ください！

新卒採用4人にインタビュー

―みなさん、福岡県花卉農業協同組合への入組、おめでとうございます。

全員　ありがとうございます。

―入組式を終えた今の心境をお聞かせください。制服の袖に腕を通した感想は？

岡部　花卉農協への入組を前に、父から社会の厳しさについて話を聞いていました。まだその厳しさはわかりませんが、入組式で上司の方々と会い「これからいよいよ社会人生活がはじまるのだな」と気が引き締まりました。制服を着た感想は、新鮮です。

林　入組式は終わりましたが、まだ少し緊張しています。制服については、農業大学校で毎日のように作業着を着ていたせいか、あまり違和感がないですね。

―林さんのほか齊藤さんも農業大学校を卒業されているそうですね。学校ではどんなことを学びましたか？

林　農業全般を学ぶ総合コースに在籍していました。ここは営農指導員を育てるコースですが、そのなかでさらに科目を選ぶことになっています。僕は花コースを選んで学び、卒業論文ではハイドランジアについてまとめました。

齊藤　僕は農業大学校養成科の野菜コースで、害虫を食べる虫のことを調べていました。この虫を土壌に集めて農薬を減らす研究です。

―岡部さんと白石さんは大学でどんなことを勉強してきましたか？

岡部　大学では地球環境科学を専攻していて、川の干潮、満潮時の水質を調べてどんな変化があるのかを考察していました。

白石　僕は経済学、経営学を学んできました。花卉農協に就職したので、これから花農家の方とお会いする機会があると思います。これまで学んできた経営学が役に立てば嬉しいです。

―みなさんが組合への就職を志望したのはどうしてでしょうか？

岡部　母が趣味でフラワーアレンジメントをしています。いつも楽しそうにやっているので、以前から花に関心はありました。就職活動をするなかで花卉農協の求人を見つけ、見学に訪れた結果、受けてみたいと思いました。

林　僕の実家は花農家で、トルコギキョウをつくっています。幼い頃からよく親について北九州花市場へ行き、職員のみなさんにかわいがっていただきました。大きくなってから久しぶりに市場に行く機会がありましたが、僕のことを覚えていて、声をかけてくれる人がいました。そこで「林くんは花市場職員に向いているよ」と言われたことが、志望のきっかけです。

齊藤　祖母の野菜作りを手伝いたいとの思いから農業が学べる高校に入り、友人の誘いもあって「花・果実科」に進みました。農業大学校では野菜コースでしたが、学校に届いた花卉農協の求人票を見て興味をもち、試験を受けました。高校時代に少しは花の知識を身につけたので、誘ってくれた友人には感謝しています。

白石　志望した最初のきっかけは、両親の勧めです。これまで市場に対してわりと激しいイメージをもっていたのですが、説明会に行ってそのイメージがくつがえされました。仕事の様子を映像で見て、自分もここで働いてみたいと思いました。

―これから花に関する仕事をしていくわけですが、みなさんは花に対してどんなイメージをもっていますか？

岡部　ありきたりな答えかもしれませんが、「花＝癒し」のイメージがあります。だからこそ必要とされますし、花の需要がなくなることはないと思います。

白石　僕は、墓前に供えることが多いからか、花には少し悲しいイメージをもっています。

林　悲しいときも嬉しいときも必要で、冠婚葬祭に欠かせないものだと思います。

齊藤　つい育てる側の視点で考えてしまうのですが、いちばんに思い浮かぶのが「管理が大変」ということですね。でも花が咲いたら嬉しいですし、やはり癒しの効果は大きいと思います。

―好きな花はありますか？

岡部　小学校の頃に育てた思い出がある「あさがお」ですね。

林　僕はシクラメンに思い入れがあります。農業大学校で半年ほど世話をしていて、温度管理や葉組みなど手がかかりましたが、その分やりがいもありました。学校の秋祭りで出品され、売れた時はとても嬉しかったです。

齊藤　藤の花が好きです。子供の頃に家族で見に行ったことがあって、紫色の藤のカーテンにとても心が安らいだのを覚えています。

白石　好きな花は彼岸花です。僕は歴史が好きなのですが、彼岸花は戦時中に食用されていたそうです。このような歴史があると知って、興味が湧きました。あとは皇室や政治の世界で多用される菊の花も好きです。

―ありがとうございます。では最後に、今後の目標や展望を聞かせてください。

岡部　ひとまず3カ月の研修期間は、仕事を覚えることに集中しようと思います。花に関する知識も少しずつ増やしていくつもりです。人と接する機会が多い仕事だと思うので、たくさんの人とコミュニケーションをとって、人として成長したいです。

林　花農家や花屋のみなさんと交流を深めて、信頼関係を築くことが大切だと思っています。数年後にこうなっていたいというビジョンを明確に、目標を高くもって進んでいきたいと思います。

齊藤　まずは3カ月で仕事や新しい生活リズムに慣れることが課題です。分からないことは理解できるように積極的に学んでいきます。そして、これまでの経験や知識を少しでも活用していけたらいいなと思っています。

白石　大学で経済学や経営学を専攻していたので、経営に悩んでおられる花農家の方に解決策を提案したり、支援したりできればと思います。花農家が活気づけば、花屋や花き業界全体も活気づいて、好循環が生まれるのではないでしょうか。

―みなさんの成長を楽しみにしています。ありがとうございました。

齊藤 崇文さん　北九州花市場
福岡県農業大学校　卒業
趣味：読書

岡部 圭祐さん　福岡花市場
佐賀大学　文化教育学部　卒業
趣味：サッカー

白石 大樹さん　北九州花市場
下関市立大学　経済学部　卒業
趣味：ゲーム

林 潤平さん　福岡花市場
福岡県農業大学校　卒業
趣味：ショッピング、カラオケ

中途採用　福岡花市場

青木 顕也さん

前職では電化製品の営業をしていました。これまで花に関わる機会は少なかったですが、転職活動中に花市場に出会って花を通じて人の役に立ちたいと思い、入組を志望しました。今後は、花に興味をもってもらえるようなイベントの企画や花育活動に携わりたいです。一日も早く一人前になって、同僚や生産者のみなさまに信頼していただけるようがんばります。

趣味：サッカー
好きな花：桜
花に対するイメージ：心に癒しを与える存在

嘱託から　福岡花市場

石田 和也さん

6年前にアルバイトとして働きはじめ、この度正職員になりました。今までいろいろな花を見てきましたが、まだ知らない花もたくさん。これからもっと勉強していこうと思います。

趣味：ブラジリアン柔術、筋トレ
好きな花：カーネーション、ラナンキュラス
花に対するイメージ：癒し、感謝

嘱託から　福岡花市場

山口 裕喜さん

福岡花市場で働きはじめて今年で10年を迎えます。今年度から正職員になりましたので、気持ちを新たに一生懸命がんばっていこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味：マラソン　　好きな花：白菊
花に対するイメージ：人の暮らしになくてはならないもの

平成28年度 『ふくおかの花』購買促進事業 取り組み報告

当花卉農協は、平成28年度に福岡県と共同で「ふくおかの花」購買促進事業を展開し、「ふくおかの花」のすばらしさと魅力を県民の皆様に広く知ってもらい、生活により多くの花を使っていただけるよう、さまざまな取り組みを実施しました。

1つ目の取り組みとして、（一社）花の国日本協議会が提唱している「花と素敵な週末を。」をキャッチフレーズに、週末に家でお花を飾りませんかと消費者に提案する「WEEKEND FLOWER」のキャンペーンを実施しました。

FBS福岡放送の朝の情報番組『バリはやッ！』では、毎週金曜の午前5時45分頃に福岡県産の花きを紹介していただき（計38回7月～3月）、紹介したお花を使ったアレンジメントを、視聴者の方に毎週週末にお届けできるようにプレゼントしました。

バリはやッ！で
福岡のお花をご紹介

また、異業種とのコラボを展開。飲食店や車のディーラー、銀行、病院などさまざまな業種の方にご協力いただき、店内にポスターやPOPを掲示し、WEEKEND FLOWERのシールを貼ったスリーブでラッピングした1輪花とキャンペーンのチラシをお客様に配布していただく試飾を行いました。7月から月に1回実施したこのコラボ企画には、県内255カ所、40店舗にご参加いただきました。

県内のイベント会場でも試飾を行い、10月30日の北九州花ロマン祭（リバーウォーク北九州）、11月19日・20日のいい夫婦の日のPRイベント（キャナルシティ博多）、11月19日のJR九州ウォーキング（JR八幡駅）、11月3日のふくおか子育て応援フェスタ、1月27日のWEEKEND FLOWERプロモーションイベント（福岡市役所）の5カ所にて、花のオブジェを設置し、キャンペーンのチラシを参加者に配布しました。

さらに、お花屋さんに来店された方へ花のプレゼントを実施。県内の20の店舗にご提携いただき、イベント会場や異業種コラボ先で配布したチラシに付いていた「お花引換券」（クーポン券）を持参したお客様に、ラッピングした1輪花をプレゼントしました。

8月、9月、11月には、お持ち帰り用バッグの試作検討会を開催しました。県庁、花商、パッケージ業者、花市場関係者らが集まって意見交換を行いながら、とくに50代から60代の男性が購入した花を持ち帰りやすくするため、中に入れた花が見えないアレンジバッグの制作に取り組みました。

2つ目の取り組みとして、郵便局で販売している「ふるさと小包」の地域タイプにて「ふくおかの花」を掲載。お歳暮やお彼岸・卒業シーズンに合わせ、福岡県産の花きを使ったアレンジメントや花鉢を消費者の方に提案し、贈答・宅配による販売強化を図りました。

平成29年度も、お花屋さんを対象としたWEEKEND FLOWERのセミナー企画を計画するなど、引き続き「ふくおかの花」購買促進事業に取り組んでまいります。福岡の花の魅力を県民の皆様へ発信し、より多くのご家庭に福岡の花を飾っていただけるよう努めてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

異業種コラボ先にて